

桃谷中学校 元気アップ通信

令和8年7・8月合併号

さあ、もう間もなく楽しい夏休み！夏休みも図書館を開放しますので予定表を見て足を運んでみてください。懇談期間の放課後も開放します。待ち時間などに活用してください。

懇談期間～夏休み中図書館開放（自主学习もできます）

月	火	水	木	金
7月6 放課後～16時	7 放課後～16時	8 9時～16時	9 懇談 放課後～16時	10 懇談 放課後～16時
13 懇談 放課後～16時	14 懇談 放課後～16時	15 懇談 9時～16時	16 終業式	17 夏休み
20 海の日	21	22 9時～16時	23	24
27 10時～12時	28 10時～12時	29 9時～16時	30	31
8月3 10時～12時	4 10時～12時	5 9時半～13時	6	7
10	11 山の日	12	13	14
17	18	19 9時～16時	20 10時～12時	21 10時～12時
24 10時～12時	25 始業式 放課後～13時			

夏の特別貸出のお知らせ

今年も夏の特別貸出をします。

7月6日（月）から最大4冊です。2学期始業式までとします。

裏面に本の紹介を載せていますので参考にしてください。

もしかすると夏休みまでに新刊が入ってくるかもしれません。

お楽しみに。

3年生の弘田さんが
描いてくれました



夏に読みたい本。新潮社編！

毎年図書館には出版社や取次店からカタログが送られてきます。

特に夏前になると大手出版社が出す冊子があります。本屋さんに『ご自由にお取りください』と置かれていたりします。有名なのは集英社の『ナツイチ』、角川『夏フェア』、新潮社『新潮文庫の100冊』でしょうか。

今回は50周年を迎える新潮社の『新潮文庫の100冊』の中から本を紹介します。

『この世にたやすい仕事はない』 津村記久子

「一日コラーゲンの抽出を見守るような仕事はありませんかね？」
ストレスに耐えかね前職を去った私のふざけた質問に、職安の相談員は、ありますとメガネをキラリと光らせる。隠しカメラを使った小説家の監視、巡回バスのニッチなアナウンス原稿づくり、そして…。社会という宇宙で心震わすマニアックな仕事を巡りつつ自分の居場所を探す、共感と感動のお仕事小説。



『深夜特急〈1〉』 沢木耕太郎

インドのデリーからイギリスのロンドンまで、乗り合いバスで行ってみたい。ある日そう思った26歳の“私”は、仕事をすべて投げ出して旅に出た。途中立ち寄った香港では、街の熱気に酔いしれて、思わぬ長居をしてしまう。マカオでは、「大小」というサイコロ博奕（ばくち）に魅せられ、あわや…。一年以上にわたるユーラシア放浪の旅が今、幕を開けた。いざ、遠路二万キロ彼方のロンドンへ。



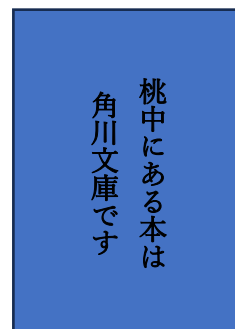
『老人と海』 アーネスト・ヘミングウェイ

八十四日間の不漁に見舞われた老漁師は、自らを慕う少年に見送られ、ひとり小舟で海へ出た。やがてその釣網に、大物の手応えが。見たこともない巨大カジキとの死闘を繰り広げた老人に、海はさらなる試練を課すのだが。自然の脅威と峻厳さに翻弄されながらも、決して屈することのない人間の精神を円熟の筆で描き切る。著者にノーベル文学賞をもたらした文学的到達点にして、永遠の最高傑作。



『こころ』 夏目漱石

親友を裏切って恋人を得たが、親友が自殺したために罪悪感に苦しみ、自らも死を選ぶ孤独な明治の知識人の内面を描いた作品。鎌倉の海岸で出会った“先生”という主人公が描かれる前半と、後半の主人公の告白体との対照が効果的で、“執拗”の主題を抑制された透明な文体で展開した後期三部作の終局をなす秀作である。



今、図書館では3社の「夏の文庫フェア2026」を展示しています。お気軽に手に取って見てください。